

6月は春と夏の変わり目である『梅雨』の時期です。5月までのふんわりとした温かさから、ガラッと「ジメジメ」とした雨ばかりに変わります。こんなときは「てるてる坊主」を作ってみるのもいいかもしれませんね。今月のほうもんだよりは訪問教育での様子や作品を紹介します。



理科の実験を病院と羽曳野支援学校をZOOMでつなぎ、双方向でのオンライン授業を行いました。

実験項目

- 1 メントスカイザー
- 2 手づくり入浴剤

身近なものを混ぜて、泡が発生する実験をしました。どちらの実験も興味津々に聞いていました。

教員からの質問に対して、応答できていました。 中1 前田くん オンライン授業の様子



病院内で行っている軽作業の時間に大好きな「スティッチ」をアイロンビーズで作りました。すごく上手にでき、病室のドアに飾っています。



中2生徒 アイロンビーズ



てるてる坊主の由来

てるてる坊主は、中国から入った風習といわれています。中国では、白い紙で頭を作り、赤い紙の服を着せ、ほうきを持たせた女の子の人形（「雲掃人形」や「掃晴娘」と呼ばれる）を雨が続く時に軒下につるして晴れを祈る風習がありました。ほうきを持っているのは、雨雲を掃き、晴れの気を寄せるためです。皆さんもてるてる坊主作ってみてはどうですか。



6月24日（木）全校職員会議
※PM授業なし
7月20日（火）終業式